



社会医療法人
愛仁会

高槻病院

高槻市古首部町1丁目3番13号 ☎072-681-3801
http://www.takatsuki.aijinkai.or.jp

いろいろな ひろば

Vol.
199
2012.11.25

- **愛仁会 千船病院**
☎06-6471-9541 大阪市西淀川区佃2丁目2番45号
- **愛仁会 リハビリテーション病院**
☎072-683-1212 高槻市白梅町5-7
- **介護老人保健施設「ケアアイ」**
☎072-687-0103 高槻市大字原112番地
- **介護老人保健施設「ユアアイ」**
☎06-6471-5236 大阪市西淀川区佃2丁目2番58号
- **愛仁会 高槻在宅サービスセンター**
「ケアプランセンター愛仁会高槻」
「訪問看護ステーション愛仁会高槻」
「ヘルパーステーション愛仁会高槻」
☎072-686-1882 高槻市白梅町5-7
- **訪問看護ステーション「ほほえみ」**
☎06-6471-3121 大阪市西淀川区大和田3丁目8番17号
- **高槻北地域包括支援センター**
- **ケアプランセンター ケアアイ**
☎072-687-0303 高槻市大字原112番地
- **愛仁会 看護助産専門学校**
☎072-681-6031 高槻市天神町2丁目1番12号

高槻病院
の理念

「患者さまの満足する医療」

患者さまの
権利章典

高槻病院は「患者さまの満足する医療」の実現のために、以下のことに努めます。

- 良質・適切・安全・公正な医療に最善を尽くします
- わかりやすい説明と納得に心がけ、相互の信頼関係を築きます
- お一人お一人のプライバシー・価値観・自己決定権を尊重します

リハビリテーション専門職による

認知症診療への取り組み

リハビリテーション科 小杉 正／櫻 篤

「はじめに」

高齢化社会に伴い認知症患者さまの数が急速に増えています。リハビリテーション中、高齢の患者さまにおいて、認知機能面が低下しておられる方が非常に多くなり、私たちに

対する正しい知識と対応が訓練を行っていくうえでも大変重要となってきました。そのような意味でもリハビリテーション3職種である理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が認知症診療に関わりそれぞれの職種の専門性を活かした診療を行っています。また、平成22年秋より診療所からの紹介患者さまを対象とした「初期もの忘れ外来」を開設し、認知症の早期発見に取り組んでいます。

「理学療法士の役割」

理学療法では骨折などの手術後のみでなく、内科的治療や検査入院期間中の筋力や持久力、バランス能力の低下を予防するために歩行練習や筋力増強練習、立位バランス練習といった運動の指導も行います。入院中の限られた空間での生活による運動機能低下が精神・認知機能面の低下に繋がるからです。さらに、

家族様への介助方法の指導や患者さまへの運動習慣維持のための指導、必要に応じてデイサービスでのリハビリテーションの活用などの提案を行い、屋内、屋外での移動が安全に行えるような指導も行っています。

「作業療法士の役割」

作業療法では、神経心理検査で単に認知面の評価をするだけでなく、日常生活上の問題点を探索し、それに対する具体策を検討し指導もを行います。神経心理検査中も、検査の数値結果だけを見るのではなく、患者さまの検査に取り組み様子や動きなど行為に関わる全般を通して患者さまの暮らしをみるように努めています。一人暮らしの高齢者が増えていますが、日常的な対人交流においても居心地の悪さや寂しさなどを日頃から感じていて、それらが誘因となり認知症が進行することもあります。孤立して閉鎖的にならないような環境にするためにはどういった社会資源が使えるか、どのような方法でコミュニケーションの場を設けるかなどを検討し提案します。

「言語聴覚士の役割」

言語療法では、作業療法と同じく

神経心理検査も行いますが、摂食嚥下機能面から食事介助方法や食事内容の提案も行います。脳血管性認知症やパーキンソン症状を呈することの多いレビー小体型認知症では比較的初期から嚥下機能低下がみられます。飲水検査やフードテストなど実際の食事場面を通しての評価以外にも、必要に応じて嚥下内視鏡検査や嚥下造影検査を行います。また、嚥下体操と呼ばれる頸部から顔面口腔器官の運動訓練等の指導を実施しながら、より安全で快適な食事環境が実現できるように努めています。

アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症や、レビー小体型認知症など進行性の病気をできるだけ早期に発見し、薬物治療や運動を含めた生活習慣の改善で認知機能低下の進行を遅らせることがリハビリテーション科での認知症診療の特徴です。認知機能面の低下を評価する神経心理検査のみでなく、基本運動能力評価、簡易嚥下機能評価、血液検査、MRやSPECT(脳血流検査)など最新画像診断技術も駆使し、リハビリテーション専門職が協力して足から頭まで全身の評価を行う認知症診療を行っています。当院では神経内科や精神神経科でも認知症診療を行っています。初期もの忘れ外来での診療は、認知症の初期あるいは認知症疑いの患者さまを対象にしています。

「初期もの忘れ外来」の詳細については、2010年9月発行Vol.189に掲載しています

皆さま高槻病院が「地域医療支援病院」であることはご存じでしょうか？地域医療支援病院とは、ごく簡単に言えば、「病院と診療所が役割分担をし、入院や検査などが必要になった患者さまを診療所から積極的に受け入れしたり、また逆に病院の外來で通院する必要はない患者さまを積極的に診療所へ紹介したりしている病院」のことです。皆さまが診療所から紹介状をもらって病院へ来られるとき、また治療を終わって診療所へ初めてかかるとき、「先生同士は知り合いじゃないみたいだけど、連絡をちゃんと取ってくれているのだから」「全然違うことを言われたら困るな」などと不安に感じられる方が多いのではないのでしょうか？そういった不安を少しでも軽減して頂くために、毎年病院主催で、診療所の医師（登録医）と当院医師の連携を深めるための会を開催してまいりますのでここに報告させていただきます。

去る10月6日（土）たかつき京都ホテルにて高槻病院地域医療連携検討会・懇親会が開催されました。今年も登録医の先生方約70名が参加されました。高槻地域医療連携検討会は、地域の先生方と高槻病院のスタッフのコミュニケーションを重視した会にしています。それにより、ひとつひとつの診療への共通認識が生まれ、紹介する先生方、される先生方の双方が納得いく形を共に形成していくことにこの会の意味があると考えています。懇親会は例年通り立食形式で行なわれましたが、すでに先生方同士がお顔見知りである場合も多く、各テーブルでお話が盛り上がりつつあり、大変盛会のうちにお開きとなりました。今後も連携を深めて頂けるよう努力を続けていきたいと思っております。



高槻病院は、患者さまにはかかりつけ医を持って頂くようお願いしています。高槻病院ブルーエリア総合受付前にある「メディアマップ」をぜひ活用ください！

高槻病院は、患者さまにはかかりつけ医を持って頂くようお願いしています。高槻病院ブルーエリア総合受付前にある「メディアマップ」をぜひ活用ください！

新任医師紹介 泌尿器科 右梅 貴信



平成24年10月より高槻病院・泌尿器科で診療を行っています。泌尿器科では尿路悪性腫瘍、尿路結石、排尿障害、尿路感染などの泌尿器科一般診療を行っています。悪性腫瘍に対する内視鏡手術、結石に対する体外衝撃波手術、経尿道的結石碎石術、前立腺肥大症に対する手術も積極的に行っていく予定です。

また、腎・尿路臓器は他科との連携が非常に重要になってきます。消化器外科、婦人科は尿路の隣接臓器であり外科的治療を行う際に連携が必要になることも少なくありません。また急性・慢性腎不全では腎内科と連携して治療を行うこともありますし、脳・脊髄疾患では排尿障害は必発といえるかもしれません。他科の先生方と密に連携をとり診療を行っていきたくと考えています。よろしくお願いたします。

愛仁会総合健康センターだより No.25

運動教室

簡単55分体操



愛仁会総合健康センター附属デイサービスセンターでは偶数月に1回、「簡単いきいき体操」と題して一般の方を中心に自宅でもできる簡単な体操教室を開催しています。準備体操で身体をほぐしたあと、ゴム体操や脳刺激体操などを行います。参加費は無料。次回は12月21日（金）9時45分～11時、健康センター4階グループエクササイズルームにて開催します。事前申込みは愛仁会総合健康センター附属デイサービスセンターへ直接ご連絡下さい。

今後の予定

平成24年・12月21日（金）9:45～11:00

平成25年・2月15日（金）9:45～11:00

・4月19日（金）9:45～11:00



お申し込み先 愛仁会総合健康センター附属デイサービスセンター TEL.072-692-9284

ゆりかご会開催

GCU病棟科長 松木 裕子

ゆりかご会は、出生時小さく生まれ、高槻病院GCUを退院した、現在3歳～4歳になるお子さんとそのご家族を対象に行っている同窓会です。今年、平成24年9月1日（土）に第14回ゆりかご会を開催し、37名のお子さんとそのご家族が参加され、賑やかで楽しい時間を過ごしました。

レクリエーションと親睦会の二部構成となっており、今年も少し遅い「夏祭り」をテーマに、盆踊り・ヨーヨー釣り・うちわ作りなどをして、子どもたちと楽しい時間を過ごしました。500gでお生まれになったお子さんも参加されましたが、元気いっぱい走り回り、ヨーヨー釣りやうちわ作りに一生懸命でした。子どもたちが楽しい時間を過ごしている間に、お父さんとお母さんは別室で親睦会を開催しました。出産したときの思いから子育てのこと、そして今の育

児の悩み、就学時期になり、さまざまなことに思い悩んでいることなども共に語り合いました。

来年もたくさんのお子さん・ご家族と再会できることを楽しみにしています。





診療所だからこそできる 細やかで安心できる 医療の提供をめざして

開院の経緯

当院は昭和53年5月に高槻市城南町に、地域医療への貢献をモットーに私の父親が開業しました。私も父が開業したこの医院を継ぎたいと思つて、医師を志しました。日本大学医学部を卒業した後は大阪へ戻り、病院勤務医を経て、三島救命救急センターで勤務していました。平成23年より、医院を引き継ぐため、父親の診療を手伝うこととなり、平成24年4月から、正式に院長として引き継ぐこととなりました。

専門分野

循環器内科を専門にしています。中でも、これまでは急性心筋梗塞や重症の心不全、不整脈等の緊急性の高い循環器疾患に対する救急専門医として診療に携わってきました。しかし、専門分野に特化せず、循環器の疾患をはじめ、高血圧・脂質異常症・糖尿病といった生活習慣病や一般内科の診療も行っていました。

クリニックの特徴

当院は予約制ではなく来院された方から順に診察させて頂いております。より充実した医療を提供し、スムーズに診療のご案内が出来るよう電子カルテの導入を行い、患者さまに快適に院内で過ごしていただけるよう診察室の内装を変更するなど環境についても工夫しました。医療機器としては、超音波装置を設置し、心エコー・頸動脈エコー検査、呼吸機能検査も行っています。

高槻病院への要望

緊急で治療や入院が必要な場合に受け入れをお願いできればと思っております。また、患者さまの中には高槻病院がどこにあるのか分からないという方もおられ、説明するときに戸惑っておりましたが、10月1日よりオープン検査予約確認票のFAXでの返信が開始され大変説明しやすくなりました。今後も病院と診療所で役割分担をしながら、地域の患者さまに良い医療が提供できるように充実した連携をお願いいたします。



生活習慣病は、うっかりしていて、ほうっておくと脳卒中や循環器疾患という重篤な状態に陥ってしまいますので、未然に予防することが重要と考えております。そのため、適切な医療を提供し、患者さまとの対話を通じて、病気について十分ご説明させて頂きながら、こ

森先生、お忙しいところありがとうございます。先生よりたくさんお話をいただき、先生の考える地域の診療所の役割と、救急専門医としての

の役割の両方の立場を踏まえて、患者さまにより良い治療を提供しようとしていただいている思いが伝わってきました。また開設当初から通われている患者さまもおられるとのこと、前院長・現院長の診療に対する姿勢が患者さまに伝わり、地域の方とつながりの深い診療所となっているのだと感じました。今後さらなる医療連携の充実を図れるよう努めてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願致します。

地域医療室 家山・西口・細川

森内科

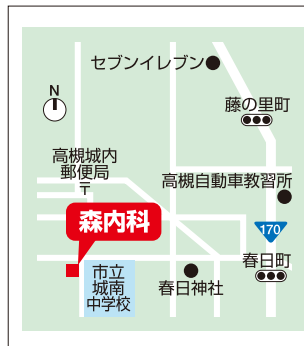
〒569-0056 高槻市城南町2丁目31-26

TEL.072-676-5050

【診療内容】内科、循環器内科

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00-12:00	○	○	×	○	○	○
午後 17:30-19:30	○	○	×	○	○	×

※土曜午後・水曜・日曜・祝日休診
※平成24年11月1日時点では都合により月・木の午後診は休診です。



ご意見箱 Q & A

Q 9階の食堂やカフェはあるのですが、コンビニでパンやお弁当を買って軽く済ませようと思っても食べるスペースが無く困っています。

イスはたくさんあるので、小さい子連れの親としてはやはり机があるちよつとした休憩スペースがあると非常に助かります。どこかにそういった場所はないでしょうか？

A ご不便をおかけして大変申し訳ございません。同様のご意見を他にもいただきましたので、リハビリテーション病院3階のローション前に机と椅子を設置させていただきます。壁にはアイワギャラリ1という有志による展示も行っておりますので、憩いの場としてご利用いただければ幸いです。この度は貴重なご意見ありがとうございました。





院内ボランティア「マザーグース」バザー開催

9月29日(土)、高槻病院南玄関受付周辺を会場に、恒例の院内バザーが開催されました。院内バザー開催の歴史は古く、マザーグースが設立された3年後、1990年から今日まで、時には毎年、近年は2年に一度のペースで開催されてきました。ボランティアと職員とで家庭の不用品を持ち寄り、「入院中の患者さまにお買いもの気分を楽しんでいただく」という趣旨で開催されています。このたびは、例年にも増して職員のみなさまからの提供品が多く、またボランティア手作りのかばん

や巾着を出品し、患者さまはあれこれ手に取り、選ぶ楽しみが膨らむ活気あるバザーとなりました。品物を選ぶ患者さまの横に寄り添い、お店屋さん役のボランティアはいつもとは少し違った表情で、大阪の商人魂を垣間見るひとときとなりました。この活動を通して、得られた収益は今後のマザーグースの運営費となり患者さまに還元される形を今後検討していきます。今後ともマザーグースの活動にご声援よろしくお願ひします。



在宅酸素友の会 レクリエーション 開催報告

(ホットレクリエーション) 管理科 小牟禮諭

2012年10月16日(火)、在宅酸素友の会秋のレクリエーションを開催致しました。

今回は京都市右京区にある、東映太秦映画村に行ってきました。

当日は天候にも恵まれ、大道芸演芸ショーの観賞や館内の撮影セットの見学を行いました。参加された患者さまは、昔懐かしい時代劇のポスターや実際に使われている撮影セットなどを見学されながら、とても楽しげに、また当時からよく見ていた時代劇を思い出しながらスタッフとお話をされていました。

在宅酸素友の会は、普段はなかなか遠出ができない患者さまに、医師を始めとした病院職員と酸素業者が同行し、日帰りでバス旅行を楽しんで頂く事を目的に企画しております。次回は4月に春のレクリエーションを計画しておりますので、多数の方のご参加をお待ちしております。



らよく見ていた時代劇を思い出しながらスタッフとお話をされていました。

INFORMATION

糖尿病教室

毎週金曜日 午後3時～
リハビリテーション病院8階第2会議室

当院の土曜日休診に伴い、
10月より日時と場所が変更になりました。

- 11月30日(金)『糖尿病性腎症について』
腎臓内科医師
- 12月 7日(金)『糖尿病と脳血管障害』
砂田医師
- 12月14日(金)『楽しく身体を動かそう!』
健康運動指導士
- 12月21日(金)『質問にお答えします』
全職種



◀ギャラリー10月

11月になり、ようやく秋らしく少し肌寒くなってきましたね。秋と言えば食欲の秋、紅葉などをイメージしますが、みなさんは、何を思い浮かべるでしょうか？

高槻病院の庭園ギャラリーでは、秋と言えば運動会。9月終わりから10月にかけて、いろいろなか所で運動会が開催されています。庭園ギャラリーでも楽しいような運動会の催しがされています。

した。運動会の応援に行った気分を味わえたのではないのでしょうか。
そして、ハロウィンです。ハロウィンの由来は、古代ケルト人の秋の収穫感謝祭に起源があると言われています。毎年10月31日の晩に行われます。庭園ギャラリーでは大きなキティちゃんやハロウィンを祝っています。みなさんのところにも仮装した子どもたちが「Trick or treat!」と言ってお菓子をもらいにくるかもしれませんね。
これからもみなさんに季節を感じていただけるような楽しい庭園ギャラリーを作っていきたいと思っています。



庭園 ギャラリー

看護部広報委員会
松本裕子